

IGNITE

THE ONLY WAY TO GO!

M A G A Z I N E

THE ULTIMATE RESOURCE FOR
AMERICAN VEHICLES

2009 JANUARY Vol.14 • **FREE**

Chip Foose's **TERRA CUDA** Pure Vision **515 GTB**

Southern California Timing Association

SEASON 4 www.ignitemag.com

EL MIRAGE

DRY LAKE

Speed Trial



2008
**SEMA
SHOW**



BLACK MANTIS
HD SHOVEL HEAD

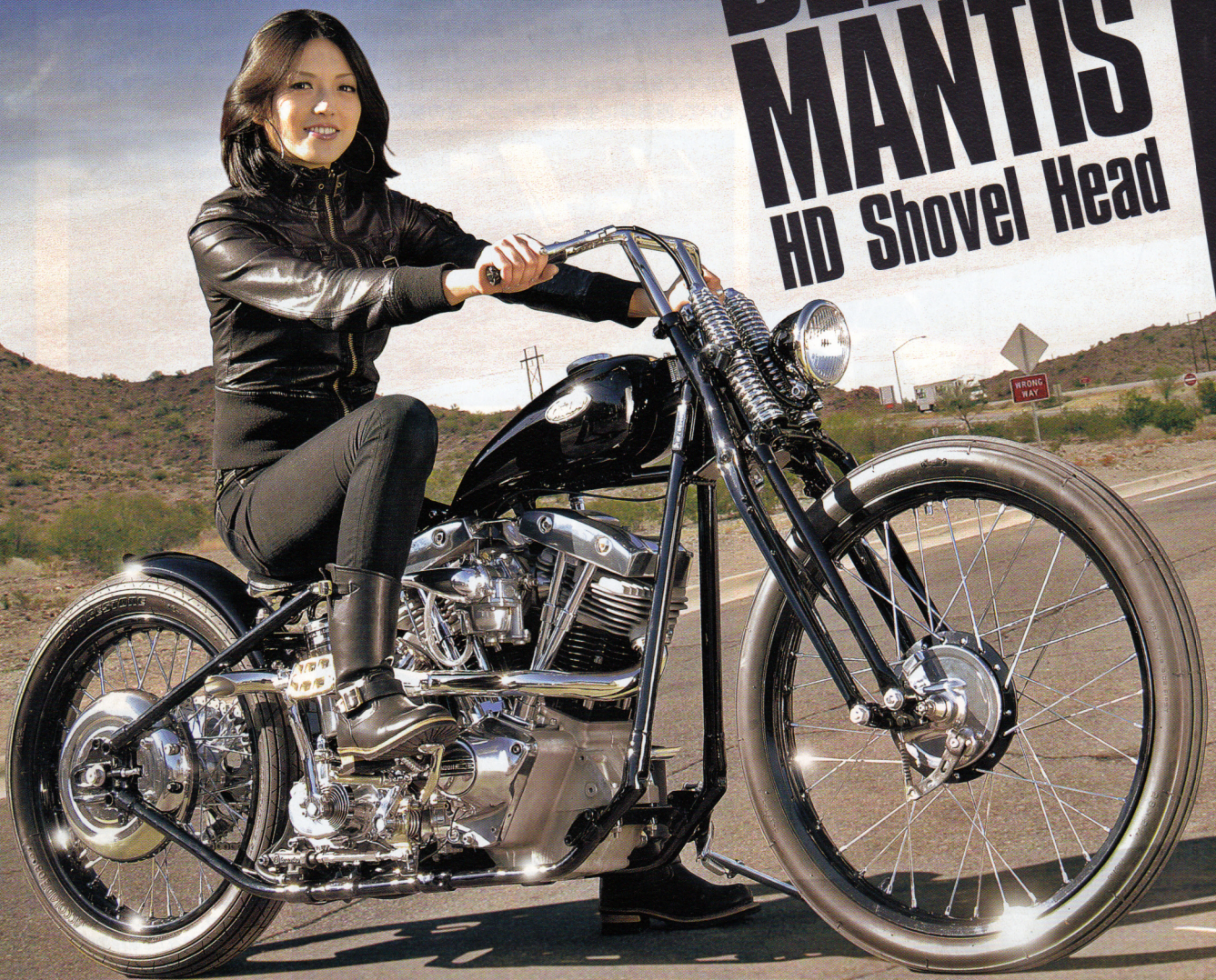
1970 PLYMOUTH ROADRUNNER
1969 MUSTANG SCJ

STREET RODS 101 • RISING RIDES • LET'S GET DOWN ON TRACK!
LETTER GETTER FOR HOT WHEELS NUTS! • WHAT'S BUGGIN' • TWANG BANG GANG

 **HOT ROD'S BIKE**

BLACK MANTIS

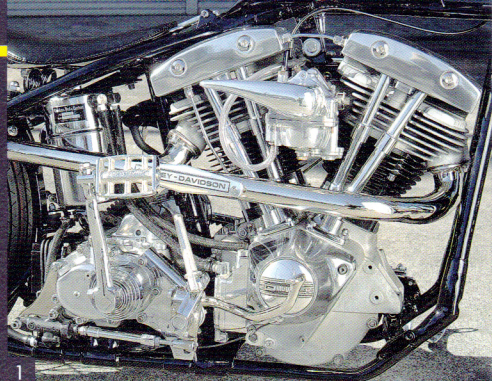
HD Shovel Head



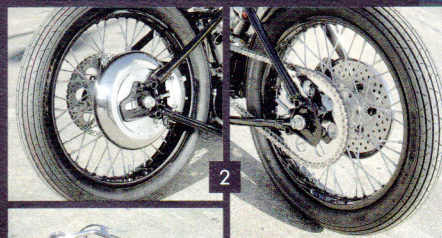
Text : hideki ishikashi Photo : hiroshi nose
Model : GO!GO! MIWA
Thanx : One Low Custom Cycles TEL.042-556-4516 <http://www.onelow-rod-custom.jp/>

このコーナーに掲載するバイクの選考には毎回苦労しています。基本的にはホットロッドやドゥラッグレースを推奨する本誌としてのテーマやイメージに合った物である事がポイントにはなっていますが、結局はボクの個人的趣味が露骨に現れています。それはクルマでも同じ事なのですが、バイクは絶対数こそ多いのですがなかなか心揺さぶられる個体に巡り会えません。そんな話を周りに持ちかけると、いつの間にか話題がボク自身に向けられ「へそ曲り」「頑固」「マニア」「変態」などの賞辞を頂く始末。いずれにしてもストライクゾーンが狭すぎる(あまり自覚出来ていない?)ようです。でも、ボクが理想とする物は至って単純明快。ズバリ、プロポーションが良い物! 人間だったら8頭身が理想的なのと一緒に。それはルックス的にも肉体としても均整が取れてるって事。例えば、いくらロー&ロングなプロポーションが好みだからって、限りなく長く低ければカッコいいかと言ったらもちろん×です。あくまでもストリートを基準に軽快に走る為の条件を満たして行けばおのずとその範囲は限られるはず。その限られた条件を無視した物は残念ながらストライ

クゾーンから外れてしまうというわけです。そもそもストライクゾーンとは狙わずして入るほど広くはないのです。そこで、今回ご紹介するコチラは直球でストライクです! 数百台ものバイクがエントリーしたHRCS (P21, 22参照)の会場内でも派手さはなくともそのスリムで美しいプロポーションで存在感を放っていました。ここではTom Foster's Pick、Rico Fodrey's Pickと海外のゲスト二人からアワードが贈られています。シンプルにまとまった全体の印象は自転車にも似た軽快さも溢れています。タイヤ、タンク、マフラーのレイアウト等、細さを強調しながらも、フレーム等の基本的な部分はほぼストックのまま。そこにパワフルで信頼性の高いS&Sのショベルを搭載した他、ディティールにもストリートロッドのアプローチが随所に見受けられます。「スリムで美しいプロポーション」と「カジュアルに付合える事」といったテーマどおり細かい所を抜きにして、ご覧の様に女の子が乗っても自然におさまるさりげない仕上りはお見事。ポジション的にも乗り易そうで人が乗った時にこそカッコ良さが際立つこんなバイクは本当の意味で魅力的です。



1



2



4



3



5

① ナックルのフレームにレイトモデルのエンジンであるショベルをセットしている事、またそのショベルがHD社製ではなく、S&S社(1340cc.キャブも同社のE型)の社外品である点では、HDのストックに拘る人からは「HDじゃないじゃん」と言われてしまうかもしれないが、アップグレードされた1台のバイクとしての魅力は高く、また、そのアプローチは正に乗って楽しむ事をテーマにしたストリートロッドの世界では定番。ちなみにオーナー/ビルダーは32Fordの3ウインドークペのストリートロッドにも乗るロッダーでもある。細さをテーマにマフラー、オイルタンクはワンオフ。②Rブレーキはマスターシリンダー、キャリパー共にブレンボ製をセットしながらもドラムブレーキを思わせるラジカルなカバーを施した。RホイールにはHDの前輪用19インチをセット。③Fホイール&ブレーキはホンダXL250Sからの流用。④上から見た姿は正に自転車を連想させるほどスリム。各部のディティリングは極力シンプルに見せるために神経が注がれている。⑤ブレーキレバーはハンドルバーに一体化する様に溶接で取付けられている。もはや、自転車よりもシンプル!

BLACK MANTIS

23インチのFタイヤはコッカー社にカスタムオーダーした戦前のファイアーストーン製レース用レプリカ。細さを際立たせている上でも要となっている。23インチともなると大き過ぎるような気もするがリアを19インチにした事でバランスが保たれて実際に装着された姿からは全く違和感を感じ無い。ホイールのリムを車体色に合わせてペイントされた事で全体がコンパクトに引き締った印象を与えている。